

きらり輝く 農業人材確保支援事業

現状課題

- 高齢化や人口減少を背景に農家戸数は減る一方、規模拡大は進み農業法人や雇用就農者は増加傾向。
- 他産業と比べ農業は、求人倍率も高く、今後は更に他産業との人材確保競争が激化。
- 多様な人材が「農」を職業として安心して選び、活躍できる労働力融通の仕組みづくりや環境整備が必要。

取組内容

※人材ベストミックス:各地域の経営形態の特徴と、援農者や障がい者、企業・団体・公務員OB、副業的短期就労(Wワーク)希望者、社会人スポーツ選手など多様な人材との最適な組合せ

地域の実情に応じた最適な人材を登用

① 農業人材ベストミックス支援事業

- ・ 農福連携やWワーク促進、産地間・産業間連携の取組など地域における新たな手法による人材確保対策を推進
- ・ 地域コーディネーターの設置

【例：農福連携の取組推進】



【例：短期集中的な就労（Wワーク）の推進】

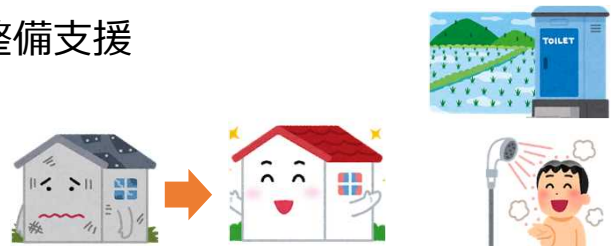


② 農業人材受け入れ環境モデル構築事業

- ・ 多様な人材がより就労・定着しやすい環境モデルを各地域に設置

例) 遠方からの人材を受け入れる拠点整備支援
(空き家の改修等)

休憩所や簡易トイレの整備支援



③ 農業人材定着促進事業

- ・ 労務管理研修、人材養成研修の実施
- ・ ベトナム関係機関等との連携を見据えた外国人コンシェルジュの設置



効果

職業として「選ばれる農業」、就農先として「選ばれる宮崎」の実現